2024年６月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年２月14日

上場会社名　株式会社ビューティカダンホールディングス　上場取引所　東
コード番号　3041　URL　http://www.beauty-kadan.co.jp/
代表者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　舛田正一
問合せ先責任者　(役職名)　取締役経営管理本部長　(氏名)　三島まりこ　(TEL)096-370-0004

四半期報告書提出予定日　2024年２月14日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2024年６月期第２四半期の連結業績（2023年７月１日～2023年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年６月期第２四半期	3,556	10.5	11	△5.8	17	△42.0	3	△79.6
2023年６月期第２四半期	3,217	11.7	12	△13.7	29	△18.0	17	5.0

(注) 包括利益 2024年６月期第２四半期　3百万円(△96.0%)　2023年６月期第２四半期　18百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年６月期第２四半期	0.89	―
2023年６月期第２四半期	4.36	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年６月期第２四半期	2,616	519	19.8
2023年６月期	2,462	545	22.2

(参考) 自己資本 2024年６月期第２四半期　519百万円　2023年６月期　545百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年６月期	―	0.00	―	9.00	9.00
2024年６月期	―	0.00			
2024年６月期(予想)			―	13.58	13.58

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2024年６月期の連結業績予想（2023年７月１日～2024年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,600	2.9	150	20.6	150	11.0	110	23.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　—社（社名）—　、除外　—社（社名）—

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年６月期２Ｑ	5,076,000株	2023年６月期	5,076,000株
②　期末自己株式数	2024年６月期２Ｑ	1,018,652株	2023年６月期	1,026,552株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年６月期２Ｑ	4,051,165株	2023年６月期２Ｑ	4,049,448株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（収益認識関係） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（2023年７月１日から2023年12月31日まで）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復が見られたものの、世界的な物価高や金融引き締め、ウクライナや中東地域の情勢悪化によるエネルギーや原材料の価格高騰の影響で世界経済は不安定な状況にあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは最終年度を迎えた中期経営計画に掲げる「既存事業の収益性改善と新規事業の創出により持続的な成長を実現し、企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として「コア事業での売上拡大」「事業基盤強化」「新サービス開始・新規事業の拡大」「企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、3,556,099千円(前年同期比10.5％増)、営業利益は、持株会社体制への移行費用を計上したことやベースアップによる人件費増等により11,508千円(前年同期比5.8％減)、経常利益は17,189千円(前年同期比42.0％減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,603千円(前年同期比79.6％減) となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,834,620千円(前年同期比7.7％増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2023年７月から2023年11月までの売上高は増加、取扱件数は横ばいで推移し、コロナ禍の影響が残っていた前年同期比では増加傾向で推移し、葬儀単価につきましても持ち直し傾向で推移しています。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等への対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売等を実施してまいりました。その結果、営業利益は131,220千円 (前年同期比9.1％増) となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100％子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては販売数量の増加や円安、夏場の高温を受けた生育不良等による供給不足が影響し販売単価が上昇したことにより、売上高は1,287,455千円(前年同期比14.7％増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2023年12月)によると、2023年７月から2023年12月までの切花累計の取扱金額は33,034百万円 (前年同期比0.3％減) 、数量では389百万本(前年同期比3.1％減)と金額ベースでは横ばい、数量では減少し１本あたりの単価は上昇傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業 (国内流通) と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせて販売価格への転嫁や取扱品目の精査、販管費効率化等を実施した結果、営業利益は26,898千円 (前年同期比3.9％増) となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は１組あたりの単価は回復傾向にありますが、コロナ禍からの反動増の影響が大きかった前年同期比では横ばいとなり166,887千円(前年同期比0.3％増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、コロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深堀による受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大・利益率改善

に取り組んでまいりました。その結果、営業利益は9,471千円(前年同期比99.5%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第２四半期連結累計期間においては、各事業ともに堅調に推移したことから、売上高は267,136千円（前年同期比18.7%増）、営業利益は5,914千円（前年同期は7,417千円の損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ154,571千円増加し、2,616,661千円となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ180,804千円増加し、2,097,438千円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ26,232千円減少し、519,223千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年６月期の通期の業績予想につきましては、2023年８月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年６月30日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,898	889,823
売掛金	538,807	723,557
商品	37,132	30,432
仕掛品	2,064	4,246
原材料及び貯蔵品	36,478	51,925
その他	60,731	61,099
貸倒引当金	△3,490	△4,376
流動資産合計	1,626,621	1,756,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	656,264	662,510
減価償却累計額	△335,428	△346,187
建物及び構築物（純額）	320,836	316,323
車両運搬具	20,853	52,905
減価償却累計額	△20,255	△21,810
車両運搬具（純額）	598	31,095
工具、器具及び備品	151,199	154,201
減価償却累計額	△140,545	△140,722
工具、器具及び備品（純額）	10,653	13,478
土地	221,424	221,424
建設仮勘定	282	186
その他	15,969	15,924
減価償却累計額	△12,385	△12,774
その他（純額）	3,583	3,150
有形固定資産合計	557,378	585,657
無形固定資産		
のれん	6,674	5,840
その他	1,135	1,496
無形固定資産合計	7,809	7,336
投資その他の資産		
差入保証金	53,884	54,081
保険積立金	189,700	189,700
破産更生債権等	15,284	12,857
その他	23,354	23,175
貸倒引当金	△11,942	△12,857
投資その他の資産合計	270,280	266,957
固定資産合計	835,469	859,952
資産合計	2,462,090	2,616,661

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年６月30日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,462	326,236
短期借入金	350,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	173,729	162,987
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	82,913	78,870
未払法人税等	27,344	13,384
未払費用	119,543	127,063
賞与引当金	851	15,522
資産除去債務	10,000	10,000
その他	93,982	106,741
流動負債合計	1,059,826	1,230,806
固定負債		
社債	80,000	70,000
長期借入金	683,448	671,422
リース債務	73	25,068
退職給付に係る負債	76,013	81,634
資産除去債務	17,272	18,505
固定負債合計	856,806	866,631
負債合計	1,916,633	2,097,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	144,268	152,407
利益剰余金	416,560	380,376
自己株式	△228,633	△226,874
株主資本合計	545,434	519,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	74
その他の包括利益累計額合計	22	74
純資産合計	545,456	519,223
負債純資産合計	2,462,090	2,616,661

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年７月１日 至 2022年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年７月１日 至 2023年12月31日）
売上高	3,217,275	3,556,099
売上原価	2,807,422	3,102,607
売上総利益	409,852	453,491
販売費及び一般管理費	397,634	441,983
営業利益	12,217	11,508
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	25
為替差益	－	3,007
受取賃貸料	663	787
補助金収入	9,725	3,416
その他	12,261	3,824
営業外収益合計	22,661	11,061
営業外費用		
支払利息	4,369	4,873
為替差損	496	－
その他	393	506
営業外費用合計	5,259	5,380
経常利益	29,618	17,189
特別利益		
固定資産売却益	48	348
投資有価証券売却益	20	－
特別利益合計	68	348
特別損失		
リース解約損	1,295	102
特別損失合計	1,295	102
税金等調整前四半期純利益	28,392	17,435
法人税、住民税及び事業税	12,019	13,832
法人税等還付税額	△2,544	－
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	9,474	13,832
四半期純利益	18,917	3,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,260	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,657	3,603

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年７月１日 至 2022年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年７月１日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	18,917	3,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	52
その他の包括利益合計	27	52
四半期包括利益	18,944	3,655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,684	3,655
非支配株主に係る四半期包括利益	1,260	-

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第２四半期連結累計期間（自　2022年７月１日　至　2022年12月31日）

１．配当金支払額

決　　議	株式の 種　類	配当金の 総額(千円)	１株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年９月28日 定時株主総会	普通株式	34,541	8.53	2022年６月30日	2022年９月29日	利益剰余金

２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　2023年７月１日　至　2023年12月31日）

１．配当金支払額

決　　議	株式の 種　類	配当金の 総額(千円)	１株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年９月27日 定時株主総会	普通株式	36,445	9.00	2023年６月30日	2023年９月28日	利益剰余金

２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間(自　2022年７月１日　至　2022年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 （注）１	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,703,188	1,122,545	166,465	2,992,199	225,075	―	3,217,275
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,056	538,799	802	542,658	28,900	△571,558	―
計	1,706,245	1,661,344	167,267	3,534,857	253,975	△571,558	3,217,275
セグメント利益又は損失（△）	120,291	25,877	4,748	150,917	△7,417	△131,282	12,217

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△131,282千円には、セグメント間取引消去28,699千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△159,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　2023年７月１日　至　2023年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 （注）１	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,834,620	1,287,455	166,887	3,288,962	267,136	―	3,556,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,559	539,264	1,058	543,883	16,842	△560,725	―
計	1,838,179	1,826,720	167,945	3,832,845	283,979	△560,725	3,556,099
セグメント利益	131,220	26,898	9,471	167,589	5,914	△161,995	11,508

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△161,995千円には、セグメント間取引消去29,078千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,074千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載の通りであります。